

平成30年度第1回共済事業セミナー開催！

～モーリー・ロバートソン氏が「おもてなし」から「オトモダチ」へについて講演～

大阪府中央会では8月7日（火）シティプラザ大阪において331名の皆様にご参加いただき、平成30年度第1回共済事業セミナーを開催いたしました。

講演のテーマは「“おもてなし”から“オトモダチ”へ」、講師は国際ジャーナリストのモーリー・ロバートソン氏。

モーリー氏は講演の前半部分で、アメリカ人の父と日本人の母を持つ自身の生い立ちに触れ、父の仕事の関係で幼少期を広島で過ごしたことがその後のアイデンティティーの形成に大きく影響を与えたと述べました。

また、ジャーナリストを志すきっかけとなったニュースウィークジャパンでのアルバイトや、その後訪れたチベットにおける体験についても詳しく話されました。

講演後半部分では、訪日外国人へのおもてなしビジネスについて、渋谷交差点、山手線、通天閣、お抹茶など様々な事例を挙げながら、思わぬところに商機やチャンスが転がっていると分かり易く話されました。また、「自分の常識に縛られていると小さくまとまり想像力が閉じる」、「外国人たちの感動した話を聞いて価値を見出す」、「物事の仕組みが変わる時、そこに価値が生まれる」等々、印象深い数々の言葉が披露されました。

最後は、「あるがままを肯定する、あるがままを受け入れる Like What I Do の精神が大事」と、一時間半に亘る講演を締めくくられました。

日米双方で教育を受け、それぞれの文化や慣習に精通されているモーリー氏のお話は、自らの経験や取材に基づくもので楽しく分かり易く、今後のインバウンド対策について我々日本人が考えなければならないヒントが随所に散りばめられ、企業の経営者や管理者にも大変参考となるものでした。終了後行ったアンケートにも「おもてなしを色んな例えで幅広い視点からお話頂き参考になった」、「商売に対するヒントを得られた」、「受け入れていく強さが大事だと思った」、「視点を変えた先に可能性を見出すことが必要だと感じた」などの感想が寄せられ、今年度初めての共済事業セミナーは大盛況の内に終了することができました。

大阪府中央会では今後もこうしたセミナーを開催し、会員の皆様に様々な情報提供をさせていただきたいと考えております。お時間の都合がございましたら、是非次回は本セミナーにご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



モーリー・ロバートソン氏

